

第12回 自然散策会 『ときがわの巨木探索』 報告書

日 時：2026年 3月14日（土） 9：00 ～ 14：00

場 所：ときがわ町内

案 内：芳野さん

参加者：池田、沖本、関谷、河野、藤井、近江、西田、廣川、岡野、桑原

報 告：桑原

今回の自然散策会は、参加者11名が車3台に分乗し、芳野さんの案内で町内西部の山間部に点在している4本の巨木とお寺、神社などを巡りました。

1か所目は、萩日吉神社の鳥居横にひときわ太く高くそびえる「児持杉（こもちすぎ）」。男杉と女杉があり子宝に恵まれるご利益があるそうです。

2か所目は、萩日吉神社から徒歩約10分の所にある「大カヤ」で、静かな森の中に大きく枝を伸ばした大きなカヤがあります。大カヤを見学中に葉を触ってみると柔らかいため、このカヤは「カヤ」なのか「イヌガヤ」なのか論争が起きました。結論は、大カヤから直接出ている葉を触ると堅いため大カヤは「カヤ」で、大カヤの根元からイヌガヤがひこばえのように紛らわしく生えているということで決着しました。さすが森林インストラクターだと感心しました。（大カヤの写真右下から細く伸びているのがイヌガヤ）

3か所目は「越沢稲荷の大スギ」（こえざわいなりのおおすぎ）で児持杉に次ぐ幹回りの杉で、インストラクター6人分の幹回りがありました（公式には6.05mだそうです）

4か所目の巨木に行く前に、計画に一部追加して「くぬぎむら体験交流館」でひもかわうどんをみんなで食べました。野菜たっぷりのとても美味しいうどんで大満足でした。

最後は、慈光寺にある「多羅葉樹」（たらようじゅ）です。本堂や鐘楼のそばにあり、歴史の雰囲気漂う場所にありました。今回の自然散策は巨木だけでなく、ときがわ町の歴史やグルメも堪能できたとても楽しい観察会でした。



「児持杉」



「大カヤ」



「越沢稲荷の大スギ」



「多羅葉樹」



「ひもかわうどん会食」



「参加者全員で記念写真」